

平成 25 年度 民間競争入札実施事業  
空港土木施設維持修繕工事の評価（案）の概要

**1. 業務内容及び契約期間**

- (1) 業務内容：空港土木施設の維持工事  
 (2) 契約期間：平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 3 年間  
 徳島空港においては契約解除により平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 1 月 5 日  
 (3) 応札者数：対象 11 空港のうち、2 者応札が 5 空港、1 者応札が 6 空港であり、詳細は以下のとおりである。

空港名	平成 24 年度	平成 25 年度	差
新千歳空港	1 者	2 者	+ 1 者
三沢空港	1 者	1 者	—
仙台空港	1 者	1 者	—
東京国際空港	1 者	2 者	+ 1 者
小松空港	2 者	2 者	—
美保空港	1 者	1 者	—
徳島空港	1 者	1 者	—
高知空港	2 者	2 者	—
長崎空港	1 者	1 者	—
大分空港	2 者	1 者	- 1 者
那覇空港	2 者	2 者	—

**2. 実施状況に関する評価**

- 確保すべき質として設定していた項目（①不具合の復旧未実施件数<0 件>、②航空機の運航への影響件数<0 件>、③維持工事の確保すべき水準）は、全て目標水準を達成。
- 民間事業者からの提案により、業務の効率性の向上等が図られた。

**3. 実施経費に関する評価**

本事業の契約額は、単年度当たり 1,659,157 千円であり、従来経費と比べて 15,592 千円の経費増となっている。これは現場状況に合わせた施工数量（緊急補修や除雪回数など）の増加によるものである。

しかし、落札率では 0.43% 減少しており、入札予定価格の増加額に対して、市場化テストの導入により経費の増加は抑えていると評価できる。詳細は以下のとおりである。

(単位：千円)

空港名	従来経費 H24 (A)	契約額 (H25～H27 単年度換算) (B)	経費の増減 (C) = (B) - (A)	落札率差 (H25-H24) (D)	落札率効果 (単年度換算) (E) = (B) * (D)
新千歳空港	535,500	561,750	26,250	0.18%	1,011
三沢空港	23,100	20,125	▲2,975	▲2.90%	▲584
仙台空港	112,350	84,700	▲27,650	▲1.82%	▲1,542
東京国際空港	621,600	641,550	19,950	▲0.49%	▲3,144
小松空港	48,090	48,300	210	▲5.75%	▲2,778
美保空港	23,310	24,325	1,015	1.83%	445
徳島空港	22,050	19,950	▲2,100	▲5.81%	▲1,160
高知空港	53,340	51,100	▲2,240	2.99%	1,527
長崎空港	43,050	44,100	1,050	1.92%	846
大分空港	36,750	39,375	2,625	4.71%	1,854
那覇空港	124,425	123,882	▲543	0.39%	483
合計	1,643,565	1,659,157	15,592	▲0.43%	▲3,042

#### 4. 今後の事業について

本事業を実施するにあたり、幅広い者の参入を促すために入札参加資格要件の緩和等を行った結果、2空港において応札者数の増加がみられた。更に多くの民間事業者の入札への参加を促し、競争性を高める方策として、人材確保等のための準備期間確保や、入札参加資格を持つ全ての民間事業者に対してのパブリックコメント資料の送付等の実施、個別での業務説明や現地見学を実施するとしている。このような取り組みについて引き続き検討する必要があると考えられる。

以上のことから、次期事業においても引き続き民間競争入札を実施することが適当である。

以上